

News Release

2021年6月23日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

株式会社日本政策投資銀行

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構と 相互協力協定を締結 —2050年カーボンニュートラルの実現などに向けてイノベーションを加速—

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と株式会社日本政策投資銀行（DBJ）は6月22日、政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル」などの実現を目指し、持続可能な社会の構築に貢献するイノベーションを加速させる目的で、相互協力協定を締結しました。

NEDOが持つ多様な技術分野に関する技術戦略やマネジメントの知見・ノウハウと、DBJの幅広い産業ネットワークやファイナンスの知見を有機的に連携させることにより、革新的な技術開発成果の社会実装を促すとともに、イノベーションの創出を目指します。



図 締結式の様子

1. 概要

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と株式会社日本政策投資銀行（DBJ）は本日、政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル※1」などの実現を目指し、持続可能な社会の構築に貢献するイノベーションを加速させる目的で、相互協力協定を締結しました。

両機関は本協定に基づき、NEDOが持つ多様な技術分野に関する技術戦略やマネジメントの知見・ノウハウと、DBJが培った幅広い産業ネットワークやファイナンスの知見を有機的に連携させることにより、革新的な技術開発成果の早期の社会実装を促すとともに、イノベーションの創出を目指します。本年6月18日に閣議決定された「成長戦略実行計画※2」においても、デジタルやグリーンといった成長の潜在可能性のある分野に対する民間の大胆な投資とイノベーションの促進の必要性がうたわれており、本協定の目的とも合致するところで

す。本協定を通じ、NEDOは技術戦略やプロジェクトに対する投資家目線の強化や高い事業性が期待できる革新的な技術シーズの発掘など、技術開発成果のイノベーションを促進する「イノベーション・アクセラレーター」としての役割を強化し、社会課題の解決に一層貢献していきます。

また、DBJは経営基盤の整備や研究開発の促進、民間企業との協業機会の模索などを通じてNEDOプロジェクトの事業化を支援し、第5次中期経営計画（2021～25年度）で掲げる、お客様起点でGreen, Resilience & Recovery, Innovation, Transition/Transformationを推進する「GRIT戦略※3」を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【注釈】

※1 2050年カーボンニュートラル

2020年10月26日、第203回臨時国会の所信表明演説において、菅首相は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロ（二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロを達成）を目指す」ことを宣言しました。

※2 成長戦略実行計画

生産性を向上させ、その成果を賃金によって分配し、労働分配率も向上させ、消費の拡大を通じて、力強い成長を実現することを目指して策定された政府戦略です。具体的には、グリーン成長戦略の実現、人への投資の強化、経済安全保障の観点からのデジタル政策、スタートアップの支援、事業再構築・事業再生の支援がうたわれています。

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/seicho/index.html>

※3 GRIT 戦略

「GRIT戦略」とは、G：グリーン社会の実現、R：しなやかで強い安心安全な地域・社会や産業基盤の構築、I：事業化可能と評価できるイノベーションへの取り組み、T：現在の事業基盤を前提とした移行に向けた戦略的取り組み、を表すもので、第5次中期経営計画（2021年5月20日公表）においてDBJグループが重点的に取り組む分野を表したものです。

2. 問い合わせ先

(本ニュースリリースの内容についての問い合わせ先)

NEDO 技術戦略研究センター 担当：大今、北川、村田 TEL：044-520-5200

DBJ 業務企画部 TEL：03-3244-1950

(その他NEDO事業についての一般的な問い合わせ先)

NEDO 広報部 担当：坂本、橋本 TEL：044-520-5151

E-mail：nedo_press@ml.nedo.go.jp

以 上